

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	地域の避難訓練に参加するなどして、地域との協力体制を築けていない。	地域の防災訓練に職員が参加し、一時避難場所と避難地での地下貯水を飲用可能にする設備があることを知った。今後、職員全員がこうした地域の活動に参加する機会を設ける。また、入居者も参加できるような体制を検討する。施設の避難訓練については、屋外掲示板で地域への協力を周知し、訓練結果を掲示する。	①運営推進会議で参加の状況を報告する。②屋外掲示板で施設の防災訓練を周知し、参加を呼び掛けるとともに、実施内容を広報する。	12ヶ月
2	3	認知症介護について培ってきた知識や対応力を地域に活かしてきていない。	認知症カフェや認知症サポーター養成講座を実施し、地域貢献の一助となる。	①認知症カフェの立ち上げには、地域代表、民生委員、地域包括支援センター等の協力を仰ぎ、実施する。②認知症サポーター養成講座の周知を学校、事業所等へ地域包括支援センターとともに働きかけ実施する。③行政にキャラバン・メイト養成講座の開講を要請する。	12ヶ月
					ヶ月
					ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

